

敦賀市新庁舎外観デザイン検討（南面）

■外観コンセプト

敦賀の歴史とともにある「敦賀湾」のように、人や物、そして時代をつなぐ、広く市民に開かれた庁舎イメージを表現します。
市庁舎と消防庁舎が一体的に機能する新しい庁舎として、ひとつながりのフレームデザインを採用します。
地球環境にやさしく、利用者に快適な外皮を実現します。

	案1（リフレクトフィン）	案2（木漏れ日格子）	案3（木漏れ日ルーバー）
南面ファサード			
概要	白いフレーム（建物の外壁枠）の中を水平部材のみで構成した水平ラインを強調することで、堅実で明るく強い庁舎デザイン。	白いフレームの中に、松原を思わせる繊細な立体格子を設えることで、木漏れ日のように柔らかく落ち着きのある庁舎デザイン。	白いフレームの中に、洗い出し等の素材感のあるコンクリート打放し仕上げの腰壁とルーバー※①庇により、堅実かつ繊細な庁舎デザイン。
省エネ	中間庇（リフレクトフィン）を各階に設け日射抑制をすることで、空調負荷低減を図る。 外壁に面する柱梁の外側に独立した腰壁を設けることで躯体蓄熱を低減する。 ◎	外壁の外側に水平・垂直部材を格子状に交互に設け、日射抑制機能と躯体蓄熱低減を両立。 夏の日差しを遮り、冬の日差しを受け入れる木漏れ日のような機能性を有する。 ◎	ルーバー庇により木漏れ日のように夏の日差しをある程度遮り、冬の日差しを受け入れる計画。 外壁に面する柱梁の外側に独立した腰壁を設けることで躯体蓄熱を低減する。 ◎
開放性	窓開口を妨げるものがなく開放性の高い計画。 サッシが隠れるため、安価なサッシ構成でも違和感がない。 ◎	窓開口を妨げるものがなく開放性の高い計画。 サッシが隠れるため、安価なサッシ構成でも違和感がない。 ◎	窓開口を妨げるものがなく開放性の高い計画。 サッシが隠れるため、安価なサッシ構成でも違和感がない。 ◎
メンテナンス性	中間庇上部の窓清掃の検討が必要。 △	ルーバー庇のため雪が積もりにくい計画。 窓清掃も容易。 ◎	ルーバー庇のため雪が積もりにくい計画。 窓清掃も容易。 ◎
コスト	一般的な建物に対して、中間庇と設ける分割高となるが、長期間健全に機能し続ける必要のある庁舎としては一般的なグレード。 ○	案1の中間庇の代わりに細かなルーバーを設けるため、案1より多少工事費が大きいですが、庁舎としては一般的なグレード。 ○	案1と案2の中間程度の工事費。庁舎としては一般的なグレード。 ○

※①ルーバー：壁や天井の開口部に、羽板（はいた）を縦または横に組んで取り付けしたもの。羽板の向きを変えて直射日光や通風を加減する。
○各案の拡大図は敦賀市HPでも閲覧できます。